

たまかわ

1998

8

No.384

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA

〃泥んこサッカー〃

小体連球技大会のサッカー競技は、雨の中の最悪のコンディション。パスを出してもボールは土の、シュートをしなくても止まる。

田舎のサッカーをユースレベルで楽しむ。その中で、それぞれのチームのリーダーが精進する。(6ページ)



心豊かな人生と 住み良い地域を目指して

玉川村「新、人づくり推進事業計画」を策定

「夢と生きがいと感動のある生涯学習」を目指して、村ではこのたび「玉川村「新、人づくり推進計画」を策定しました。

村民一人ひとりが心豊かな人生を歩むためには、健康で働くことはもちろんのことですが、スポーツや趣味、または地域のためのボランティア活動などに積極的に参画することが重要なことです。

当計画では、村民に諸活動への参加と協力を求めながら「人づくり」推進事業の活性化を目指しています。

人づくり推進委員会が答申



玉川村「新、人づくり推進委員会」の様子

村は、玉川村「新、人づくり推進本部(車田次夫本部長)」が当計画書を策定するにあたり住民側からの意見を聞くために玉川村「新、人づくり推進委員会(大野勝雄会長)」を発足し

村長が当推進委員会に計画書策定の諮問をしたところ、委員会では7月16日午後7時から就業改善センターで委員会を開催して推進事業内容の検討作業を行いました。

事務局から示された推進事業(案)は、主に行政サイドの既存の事業を各課ごとに、また、事業実施時期に応じて整理されたものでした。これらの資料から新たな人材発掘をするための「新、人づくり推進人材ガイドブック」や住民が各種事業に参加しやすくするための「人づくりカレンダー」を作成することが答申されました。

ひとり
1 スポーツ
1 趣味
1 ボランティア

玉川村第4次振興計画では「生涯学習の充実」が織り込まれています。同計画では、生涯学習推進体制の整備充実を図り「人づくり」と「地域づくり」の推進を関係機関との連携を密にしながら展開してゆきます。

社会環境の変化に伴って、村民の意識や価値観などが多様化してきており、村民の学習に対する要求も多様化が見られます。生涯学習関係の領域も広がってきており、スポーツ・趣味なども個人的なものになってきています。

今回の村「新、人づくり推進事業計画」では、村民一人ひとりが「スポーツを楽しみ、趣味に興じて、地域のために奉仕作業を行う」ことを目標に、心豊かな人生を過ごして住み良い地域づくりに貢献してゆくことを内容として策定が計られました。



ワラ草履づくり (ふるさと少年教室より)

趣味・特技

広く人材を募集

「新、人づくり推進人材ガイドブック」作成

村「新、人づくり推進本部」では、来年度発行を目標に村民の皆さん方の中から、趣味や特技を持っている方々を網羅した名簿を作成することになりました。

村民7,700人余りの中から特異な技術や趣味を持った人材を掘り起こすことにより、人材の活用と各生涯学習教育への参加を容易にすることをねらいとします。

また、村民同志の交流の輪を広げるにより、新たなアイデンティティーの創出が期待されます。

「私は、こんな特技があります」

平成10年度から具体的な人材ガイドブックの編集にとりかかることとなります。

事務局となる教育委員会では、各種団体やグループなどからの情報などをもとに作業を進める予定です。

人材ガイドブックの内容としては、趣味・特技などに分類し、更に関係項目ごとに分類のうえ図1のような登録方法となる予定です。

教育委員会では「登録には積極的に参加してほしい」と話しています。

【図1】人材ガイドブック(例)

登録番号	氏名	性別	現住所	電話番号	登録内容		備考 (資格、免許、経歴)
					指導可能地域 指導可能日、時間	指導事項 指導対象	
1	玉川太郎	男	963-6392 大字小高中職9	57-1234	①居住する公民館地域内 2 村内全域	ワープロ指導 パソコン指導	ワープロ検定3級 教員免許
			48	玉川村役場	57-3101	曜日 時間	いつでも いつでも
2	田中花子	女	963-6313 大字川辺	57-2345	①居住する公民館地域内 2 村内全域	スポーツ民謡	
			53		57-2234	曜日 時間	いつでも いつでも

10月 【図2】人づくりカレンダー(例)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				資源ゴミ分別 別収集 (西部地区)		
4	5	6	7	8	9	10
村民体育祭	少年サッカー 一教室	古文書講座	母親教室 (2コース)	資源ゴミ分別 別収集 (東部)	古文書講座	
11	12	13	14	15	16	17
	少年サッカー 一教室	グラウンド ゴルフ	こぶし、な つ椿学級 元氣クラブ	資源ゴミ分別 別収集 (西部)		機能訓練
18	19	20	21	22	23	24
	レディース セミナー 少年サッカー 一教室	グラウンド ゴルフ		資源ゴミ分別 別収集 (東部) すくすくク ラブ	古文書講座	村民文化祭
25	26	27	28	29	30	31
村民文化祭		グラウンド ゴルフ	機能訓練			村民文化祭

みんなが主役「生涯学習」 人づくりカレンダーも作成へ

村民への浸透を図る

高齢化社会の到来に伴って豊かな人生と充実した日々を送ることが重要な課題になってきています。自己の能力を高めることや地域社会への参加などを通して、豊かな人づくりが形成されてゆきます。

「新、人づくり推進事業」では、村民が村の各種事業への参加を促進するために人づくりカレンダー(図2の例参照)を作成して、全戸に配付する計画になっていきます。

生涯学習は、村民全員が主役となって進めることが重要なことであり、人づくりカレンダーが村民への浸透を図るガイド役となれるか期待されるところです。

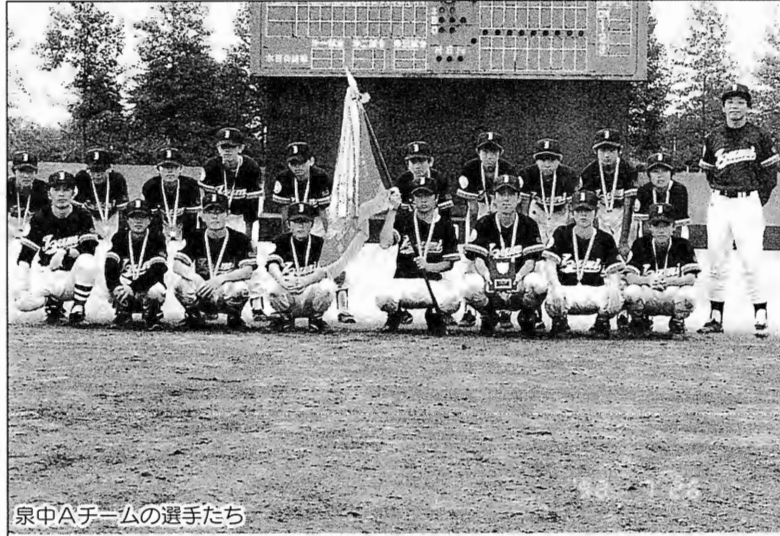
長期的な 推進の方向

事務局の教育委員会では、同計画の推進についての方向性として、「人づくり推進」に限られた時間の中で達成される性質のものではないので長期的な中で継続性のある方法を取り入れながら推進してゆくことが有効であるとしています。

次年度から逐次、そのときに見合った方策により住民の皆さんへの浸透を図ってゆきながら理解と協調をお願ひしたいとしています。



ワラ草履教室 (なつ椿教室より)



泉中Aチームの選手たち

第21回県少年野球選手権

泉中Aが優勝

ライバル石川中Aを敗る

紅獅子旗争奪第21回福島県少年野球選手権大会の須賀川・岩瀬、石川地区大会が7月24日から26日まで須賀川市の牡丹台球場などで30チームが出場して行われました。

本村からも泉中学校、須釜中学校の野球部からそれぞれ2チームずつ出場して熱戦を繰り広げました。大会の結果、泉中Aチームが見事優勝を飾り、8月11日、12日に郡山市の開成山球場などで行われる県大会出場を決めました。

県大会優勝を目指して

大会には、本村から泉中Aと泉中B、須釜クラブと須釜ヤングクラブの4チームが出場しました。

泉中Bと須釜クラブ、須釜ヤングクラブは惜しくも敗れましたが、泉中Aは、順当に勝ち進み決勝へ駒を進めました。決勝は、さきの中体連石川支部大会の決勝で敗れている石川中Aチームとの戦いとなりましたが、2対1の接戦をものにして雪辱を果たしました。

泉中Aチームは、県大会への出場が決まり、県大会での活躍が期待されます。



吉分団の操法

第44回福島県消防操法競技会石川支部大会

吉分団・竜崎分団が健闘

練習の成果を発揮

消防団員の消防操法を競う第44回福島県消防操法石川支部大会が7月26日(日)に石川町民グラウンドで行われました。競技会は、小型ポンプの部とポンプ車の部に分かれて行われ、郡内5町村からそれぞれの部門に5チームずつが出場しました。本村から小型ポンプの部に吉分団、ポンプ車の部に竜崎分団が出場して練習の成果を発揮して健闘しました。

惜しくも入賞を逃す

採点は全くの僅少差

開会式では小雨がぱらついていましたが、競技が始まる頃には、気温も上昇して夏の強い日差しが差してきました。

競技は、小型ポンプの部とポンプ車の部が同時に始まりました。競技の順序はクジの結果、吉分団、竜崎分団ともに3番目の出場となりました。

両団の選手は、控え所の前に整列して出陣式を行い、関係者から激励の言葉を受けて競技に臨みました。

小型ポンプの部が競技時間の関係から若干早めに競技が進行しており、はじめに吉分団が競技に入りました。続いて数分後に竜崎分団が競技に入り、両分団の選手が隣同士



竜崎分団の操法

で熱戦を繰り広げました。

地元消防団員をはじめ、家族やOBなど大応援団の声援を背に練習の成果を十分に発揮しました。選手の健闘に応援の皆さんから温かい拍手が送られました。

審査の結果、どのチームの力も接近しており、全くの僅少差で残念ながら両分団とも入賞を逃しました。なお、優勝は、小型ポンプの部が平田村、ポンプ車の部が石川町となり両町村とも県大会への出場を決めました。



小体連球技大会

悪コンディションの中 好ゲームを展開

第17回石川地方小体連球技大会は、7月24日(木)に石川郡内の各小学校からサッカーに27チーム、ミニバスケットに24チームが出場して行われ、4会場に分散して各会場ごとに順位を決定しました。

本村の玉川第一小学校と須釜小学校も会場となりましたが、サッカーは雨天の悪コンディションの中で行われ、泥んこになりながら健闘していました。

村内小学校の主な成績は次のとおりでした。

- ◎サッカー
 - 優勝 玉川一小A(玉一小会場) 2位 玉川一小(玉一小会場)
 - 2位 川辺小(中谷二小会場) 3位 川辺小(中谷二小会場)
 - 2位 須釜小(須釜小会場)
- ◎ミニバスケット

花いっぱい運動 開花状況を視察

玉川村花いっぱい運動協議会(車田次夫会長)では、8月3日午後から花いっぱい運動に参加している各ボランティア団体の代表者ら約30名で村内の地植え箇所の視察を行いました。

役場マイクロバスに乗って各箇所を視察したところ、マリーゴールドやサルビアの花々が綺麗に開花しており、また、除草作業など手入れが行き届いていました。代表者の皆さんは今後もこの美しさを保つための管理に力を入れてゆくことを互いに誓い合っていました。



竜崎原作田地区を視察する代表者の皆さん

アリスン先生からの手紙

みなさん 今日、もう一年間がすぎようとして、8月1日にシドニーに帰るつもりです。日本の生活はたのしかったですがオーストラリアに帰って、また大学で英語を勉強し続ける事になりました。

一年玉川村に住んでいた事は、忘れません。日本の四季を経験できた事は、とても面白かったです。秋は紅葉の葉っぱが赤くなって、落ちる事を見たり、冬は生徒達と一緒に今年のはじめて雪降りを待つ事ができたし春は、すてきな桜が咲いて、風で花びらが舞ったり、夏はおいしいおいかと甘い苺のアイスと真赤なトマトを食べられる事など思い出は、沢山大事に持っています。

一緒に働いた人もいい友達もずっと忘れません。親切にしてくれたり、手伝ってくれたり、いい思い出を作ってくれて本当にありがとうごさいます。

しかし、一番忘れられない事は、玉川村の子供達の顔です。子供達の名前は、全部覚えていませんでしたがうれしくて微笑んでいる顔は、絶対に忘れません。いつも一生懸命やってくれたり、協力してくれてありがとうごさいます。

みなさん貴重で素晴らしいチャンスを手当てしてくれてありがとうごさいます。オーストラリアに帰ったら、玉川村の事を思い出してさびしくなりますが頑張ります。お世話になりました。またいつの日か会いたい、いいですね。さようなら。



See You again!

アリスン先生 (村英語指導助手)

オーストラリアへ帰国

昨年8月から本村の教育委員会に勤務していたアリスン・フィールド先生(村英語指導助手)は1年間の任期が満了となって母国オーストラリアへ帰国しました。

アリスン先生は、児童への英語教育や一般住民を対象とした英会話教室の講師として本村に生の英語を紹介し、指導をしてくださいました。

帰国後は、シドニー大学に入って日本語の勉強を続けるとのことでした。また、「今後とも玉川村で経験したことを忘れないでがんばってゆきたい」と話していました。

北海道の「大自然」を満喫

中学生国内研修報告(上)

村内2年生118名が参加

平成10年度の中学生国内研修事業(北海道研修)は、7月27日から29日までの2泊3日の日程で行われ、小林教育長を団長に泉、須釜両中学校の2年生118名が参加しました。

生徒たちは、北海道の広大な大地に息づく自然や文化にふれあう貴重な体験をしました。

福島空港から 北の空へ

研修団一行は、27日午前9時から福島空港ターミナルビルで結団式を行い泉中学校の鈴木真美さんが団員を代表して決意表明を行いました。

午前10時30分、一行を乗せたJAL805便帯広行は、北の空に向かって飛び立ちました。約1時間20分のフライトで広大な平原に設置された帯広空港に到着しました。広々とした雄大な地形を目の当たりにした生徒たちから「広いなあ」の聲が飛び交っていました。



富良野のラベンダー畑を背にポーズ

北海道の 文化を学ぶ

研修団は、十勝ネイチャーセンターでの自然体験、富良野の牧場でのチーズ造りの見学、旭川の優良良織工芸・染織物の見学など北海道の文化に触れる研修を行いました。

最終日は、道都「札幌市」の市内自由散策を行い、北海道開拓の歴史と現代の発展した姿をグループごとに計画して学びました。(次号に続く)



十勝ネイチャーセンターで乗馬とパラグライダーの体験



県の担当者から首都機能移転の説明がされた

県 首都機能移転で

村民と意見交換

県は首都機能移転候補地の市町村を対象に住民から「生の声」を聴くことを目的に意見交換会を開いています。

本村の意見交換会は、7月22日の午後6時30分から村就業改善センターで行われ、各行政区分長や各種団体の長など約20名が出席しました。

首都機能移転は、現在、国の国会等移転審議会で調査・検討がされており、9月には本県を現地調査する予定に

ついでです。また、審議会では、来年の秋頃に候補地を選定し、平成16年に工事着工、平成26年には新首都で国会を開催するスケジュールになっています。

意見交換会では、はじめに県企画調整課首都機能移転対策室の担当者から「首都機能移転とは?」「首都機能移転の必要性」などについての説明がされました。

自然環境にやさしい

「森にさすむ都市」構想

首都機能移転を想定して県では自然を極力壊すことなく、また、人口が集中することがないようにクラスター状(ブドウの房)の都市形成を目指した自然にやさしい街づくり「森にさすむ都市」構想を掲げています。

村民からの意見などでは、首都機能が移転した場合の自然環境維持の要望、給水問題、ゴミ処理問題、地場産業の振興などの質問がされました。



十勝ネイチャーセンターでカヌーを楽しむ生徒たち

**“気分爽快”
白根山頂** 7/25・26

第32回村民登山は、栃木県の名峰「白根山」へのアタックでした。村民86名がバス2台に分乗して出発。梅雨が明けなかったため天候はぐずつき模様の悪コンディションでした。しかし、山に登りはじめると、天候も回復し、視界も開けてきました。山頂では好天となり、参加者は大パノラマを満喫していました。



もう少しで山頂だ!! がんばれ



都々古別神社を清掃する児童

地域ぐるみで美化清掃 7/26
今年で14回目

青少年育成村民会議南須釜地区推進協議会（円谷房夫会長）では、毎年恒例の児童生徒たちによる大寺城跡と都々古別神社の清掃活動を行いました。また、終了後に南須釜公民館で参加者全員での食事をし懇談をしました。

機動力を発揮 7/9

村在宅介護支援センター（ふれあいセンター内）に、軽四輪車が配置されました。センターでは、要介護者宅への訪問や出張相談業務など各種業務に俊敏に適應できるなど機動力強化となるよう活用することとしています。



在宅介護支援センターに配置された軽車両

**本物の技を伝授
特別講師が指導** 8/3

江本先生の指導で行っている少年サッカー教室の夏休み特別講習会が、須釜小グラウンドで行われました。特別講師に元福島FCコーチの原竹 博さん、選手の稲葉信行さんと鈴木茂雄さんの3人を招いて、児童に基本的なドリブルの仕方やパスの出し方などを教えました。また、同講習会は、8月10日と17日にも行われます。



ドリブルの練習をする子供たち



重さ16kgのジャンボかぼちゃ (右が普通の都かぼちゃ)

**こりゃデカイ!!
ジャンボかぼちゃ出現** 8/4

中区の双里昌光さん方の畑にジャンボなかぼちゃが出来ました。このかぼちゃは『都かぼちゃ』という品種で通常は1.5kgくらいにしかならないとのこと。しかし、このかぼちゃの重さは、なんと16kgでした。双里さんは「これも異常気象の産物なんですかねえ?」とっていました。



玉川村の自慢を熱弁する田子國夫さん

第3回ふるさといしかわ夢フェスタinふるどの 7/20

石川地方5町村の広域交流を目的としたふるさといしかわ夢フェスタが夢フェスタ実行委員会の主催で行われました。今年、「石川地方偉人・自慢人交流会」や「ふるさとこども村」をメイン事業として行われ石川郡内外から大勢の親子づれなどで賑わいました。

**より自分らしく
より素敵に輝くために...** 7/20

村主催の『きらめき講座』は、午後1時30分から就業改善センターで開催されました。カラーコーディネーターの石割郁子さんが講師となって「おしゃれと健康」をテーマにユーモアあふれる講演が行われました。



**トピックス
IN
たまかわ**

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場総務課広報広聴係まで



小高Bチームが優勝 7/28

村ゲートボール協会主催による玉川村長杯ゲートボール大会が村民グラウンドで行われました。村内から24チームが出場してトーナメント方式で競技が行われ小高Bチームが優勝を飾りました。なお、成績は次の通りでした。
優勝 小高B 2位 北ノ宿
3位 北三蔵 3位 南中央



激励を受ける(右端から左へ)鈴木君、曲山君、草野君の3名

**日本ジャンポリーに
村内から3名が参加** 7/31

ボーイスカウトの4年に1度の祭典「第12回日本ジャンポリー」が8月3日から秋田県森吉山麓高原で開催されます。本村から曲山和宏君、鈴木道裕君、草野宣幸君(以上泉中)の3名が参加することになり、午後7時から壮行会が就業改善センターで行われ、車田村長や小林教育長などから激励のことが送られました。



ドライバーに安全運転を呼びかける会員の皆さん

**暑さから来る疲れに注意
安全運転の啓発活動を展開** 7/25

村交通対策協議会では、安全協会と交通安全母の会の協力を得て、県道福島空港西線で「テント村作戦」を行いました。ドライバーに交通安全冊子とジュースなどを配付しながら安全運転を呼びかけました。

公証制度の意義・役割 重要な契約や遺言の際は—— 取引や財産の安全を守る公証制度をご利用ください

公証書の利点

- 公正証書の作成には、次のような利点があります。
- 公正証書は公文章なので、裁判

公証人役場で取り扱う事務には、さまざまなものがあります。主なものは、金銭の貸借、土地や建物などの売買または賃貸借、交通事故や離婚などに伴う損害賠償または慰謝料の支払いなどに関する契約公正証書や遺言公正証書の作成などです。最近では、お金の貸し借りなどの契約や遺言の際に、公証人役場を利用し、公正証書を作成する例が増えています。

公証人とは

裁判官、検察官などを長くつとめた法律実務の経験者のなかから、法務大臣によって任命されています。わが国には、現在、約五百五十人の公証人がおり、公証人が執務する公証人役場は、三百か所以上に配置されています。

不動産売買など重要な契約を交わしたり遺言を残したりするときには、後々のトラブルを防ぐためにも「公証制度」の利用をお勧めします。法律のプロである公証人が公文書である公正証書を作成し、取引や財産の安全を図ってくれるのが公証制度です。

「宣誓証書制度」

民事訴訟では、当事者または第三者が供述した内容を記載した書面などが証拠として利用されるのが少なくありません。そこで、その証拠としての信用性を高めるために、書面の作成者が書面の内容が真実に間違いのないことを公証人が認証する宣誓証書制度が創設されました（平成十年一月一日から施行）。これにより、裁判の進行がより迅速になり、確実な証拠のため当事者の権利も守られます。

やその他の面で極めて強力な証拠力があります。また、金銭の支払いの契約については、裁判をしなくても権利を実現できるなど特別の効力があります。

- 公正証書の原本は公証人役場の書庫に保管されるので、紛失・改ざんの心配はありません。
- 遺言を公正証書にすると、自筆遺言証書とは違い、遺言者の死亡後、家庭裁判所の検認を受けることなく、直ちに、その公正証書記載の遺言の内容を実現することができます。

● 公証制度に関するお問い合わせは、最寄りの公証人役場まで。
（日本公証人連合会）
☎〇三―三三―五〇二―一八〇五〇

第27回 玉川村少年野球大会

真夏の熱き戦いに感動

ソフトボール 竜崎 ・ ミニバスケット 中 が優勝!!

第27回玉川村少年球技大会は須釜小学校と玉川勤労者体育センターを会場に行われました。大会は、男子ソフトボールと女子ミニバスケットボールが行われ、各行政区の子供育成会でチームを編成して熱戦が繰り広げられました。大会の結果、男子ソフトボールで竜崎チームが、女子ミニバスケットボールで中チームが優勝を飾りました。

練習の成果を発揮 応援も白熱

夏休み中の事故防止と青少年の健全育成を目的とした同大会は、今年で27回を迎えました。

午前8時30分、北須釜チームを先頭に11チームが次々と入場行進を行い開会式が行われました。前年度ソフトボールで優勝した小高チームの主将矢吹力也君が全選手を代表して選手宣誓をして競技が開始されました。

広げられ、児童たちは毎日の練習の成果を十分に発揮し、夏休みの楽しいひとときを過ごしていました。

なお、競技の結果は次のとおりでした。

◆男子ソフトボール
優勝 竜崎チーム
準優勝 南須釜チーム
3位 小高チーム
北須釜チーム

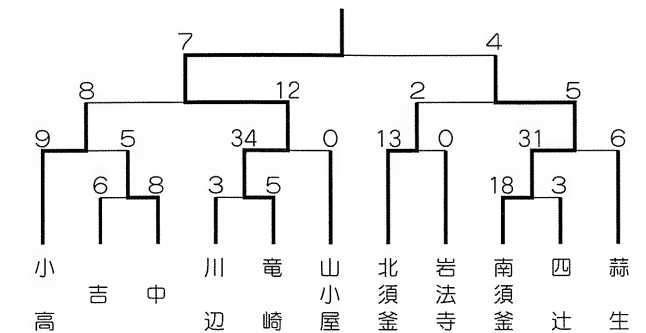
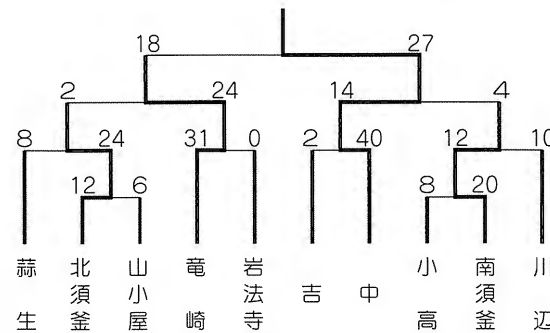
◆女子ミニバスケットボール
優勝 中チーム
準優勝 竜崎チーム
3位 南須釜チーム
北須釜チーム



ミニバスケット優勝の中チーム



ソフトボール優勝の竜崎チーム



暮らしと電気安全

八月は「電気使用安全月間」です

「真夏日」とは、一日の最高気温が30度C以上になった日、「熱帯夜」は、最低気温が25度C以下にならなかった夜です。

例年7月からの9月までの3カ月間は、感電災害が多発する傾向があります。全国一斉に電気使用の安全を呼びかけています。

向にあります。暑さによる疲労のため注意力が散漫になりがちなど、さらには、発汗により電気が流れやすくなるなどの悪条件が重なり合うのかもしれない。通産省では、毎年八月を「電気使用安全月間」と定め、

タコ足配線は危険です
財東北電気保安協会

コードの接続には
コード接続器を使いましょう

食中毒を防ごう

食中毒のうち家庭で発生するものが、全体の約20%を占めています。食中毒を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- ① 調理の前には、よく手を洗うこと。
- ② 魚介類は真水でよく洗うこと。
- ③ まな板・ふきん・包丁等の洗浄消毒を十分行うこと。
- ④ 卵・肉などは、新鮮なものを購入し、保管温度に気をつけること。
- ⑤ 冷蔵庫の開閉は、素早く行い、詰めすぎないこと。
- ⑥ 残りものは、早めにすてるか、食べる前に、もう一度よく火を通すこと。
- ⑦ ハエなどの害虫を駆除し、台所に侵入させないようにすること。ハエから腸管出血性大腸菌O157が検出されています。発生予防と駆除を徹底すること。
- ⑧ 宴会料理は、必ずその場で食べる。生ものは、決して持ち帰らない。
- ⑨ 行楽時の弁当の調理は、特に注意し、車の中などに長時間放置しないこと。





～中学生国内研修より～

8月9月の健康ごよみ

- 8月
- 21日(金) 1歳児お誕生健診 午後1時～
 - 25日(火) 健康づくりセミナー 午後7時～
 - 28日(金) 機能訓練 午前10時～
- 9月
- 7日(月) 機能訓練 午前10時～
 - 9日(水) 母親教室 午前9時15分～
 - 育児教室 午後1時～
 - 股関節脱臼検診 午後1時30分～午後2時
 - 11日(金) 7・8カ月児健康相談 午前10時～
 - 16日(水) ポリオ予防接種 午後1時～
 - 17日(木) ポリオ予防接種 午後1時～

保：保健センター 須：須釜公民館
 旧石：旧石川保健所 要：受付時間

伝言板 カナダ文化理解講座

福島県の「海外との地域間交流事業」のひとつカナダについて、県民に理解を深めてもらうことを目的に講座を開きます。



◆主催 財福島県国際交流協会
 矢吹中央公民館

◆日時と内容

月	日	内 容(案)	講師
1	9月1日(火)	カナダの観光とレジャー	イートン
2	9月8日(火)	カナダの多文化国家	〃
3	9月16日(水)	カナダの教育と福祉	〃
4	9月22日(火)	カナダの家庭料理実習	〃

◆場 所 矢吹中央公民館
 ◆受講料 無 料(第4回目は実費負担)
 ◆申込先 8月20日までに電話で申し込んでください。
 先着順で30名になり次第締切ります。
 矢吹中央公民館 ☎0248-42-2829

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 竜崎の小林元安さん
- 南須釜の吉村清克さん (村社会福祉協議会)
- 竜崎の鈴木英雄さん



村のようす

(10年8月1日現在)

- 1,770戸(+3)
- 7,642人(-4)
- 3,737人(-3)
- 3,905人(-1)

【納期限は09月25日(火)迄。忘れずに納めましょう。】
 村 民 税 第2期
 国民健康保険税 第2期
 国民年金保険料 8月分

今月の納税

お誕生おめでとうございます

(7月届出分)

地 区	出生児氏名	保護者名
川 辺	矢 部 裕 雅	辰 弥
小 高	沖 田 奈 香	伸 夫
中	鈴 木 勲 希	正 勲
岩法寺	矢 部 達 樹	宗
竜 崎	矢 内 夏 哉	浩
南須釜	大 野 恵 美	安 和
〃	長 峯 大 介	昇 治

おくやみ申し上げます

(7月届出分)

地 区	死亡者氏名	年 齢	世帯主名
岩法寺	大 竹 壽 雄	64	美 智 子
竜 崎	小 林 元 春	66	英 安
〃	鈴 木 雪 江	80	英 雄
南須釜	吉 村 弘	46	清 克

訂正 前月号掲載の吉田綱吉さんは綱義さんの誤りでした。お詫びのうえ、ご訂正申し上げます。

歌愁短歌会玉川支部詠草集

食べたいもの即刻に求む君なれば妻の気苦労も思われぬらし
 摘み立ての山菜の一束生きいきと日の匂いして厨を満たす
 夢にみし母の面影遠くして恋しき朝は花手向けおり
 年寄の花見はさまにならずとも若きらの目を見れば華やぐ
 もの言えばくちびる寒し夕風に成せぬ夢などよみがえりくる

白旗 隆
 登那木きみ
 柳沼 ツヤ
 小針みね子
 諏訪イセ子

村公民館

赤坂団地分譲のお知らせ

本村川辺地区の赤坂団地の分譲住宅(宅地)の購入者を先着順受付で募集しています。
 販売区画数は、12区画となっております。
 ◆お問い合わせ及び申込受付場所 玉川村役場企画財政課
 ☎0247-57-4629



赤坂団地のようす

「たくわえくん」は、安心・安全・安定を目指します

主食である「おこめ」を安定して消費者の皆様にお届けするため、食糧庁の行っている「備蓄制度」をご存知ですか? 「備蓄」は、不作の時に備えて、通常一定量を一年間、政府指定倉庫に低温保管し豊作・不作等の影響を極力緩和し消費者の皆様へ、「安心して」「安全な」お米を、供給するシステムです。価格も市場価格の乱高下を防止することにより安定します。「たくわえくん」はこの備蓄米を皆さんにご紹介するための愛称です。

「低温保管米」とは?

備蓄される大事な「おこめ」は、そのおいしさが損なわれないように、摂氏十五度以下の低温で保管され、「味」や「栄養分」はもとより害虫やカビからお米を守ります。

「たくわえくん」の愛称で販売されています。

- お問い合わせ先
- 福島食糧事務所
 - 計画流通課
 - 福島食糧事務所須賀川支所
- 0248-75-1141



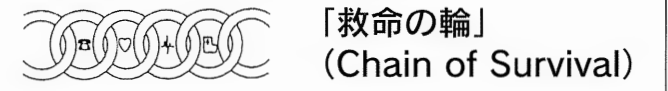
旧日本赤十字社 救護看護婦等に対する書状贈呈事業

先の大戦において戦地等に派遣され、戦時衛生勤務に服された旧日本赤十字社救護看護婦、並びに旧陸海軍従軍看護婦のうち慰労給付金未受給者の方に対して内閣総理大臣名の書状を贈呈いたします。

書状の贈呈は、請求に基づいて行うこととしておりますので、請求される方は、内閣総理大臣官房管理室へ直接請求書類を送付してください。

- 1 請求することができる方
 外地における勤務経験を有し、加算年を含めた勤務時間が12年未満の旧日本赤十字社救護看護婦及び旧陸海軍従軍看護婦であった方。
- 2 請求期限 平成15年3月31日まで
- 3 請求書類の送付先及び問い合わせ先
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-6-1
 内閣総理大臣官房管理室 業務担当
 ☎03-3581-2475・3828

9月9日は「救急の日」です。
 9月6日～9月12日は救急医療週間です。
 「救急車だって、一番近いあなたには、かなわない。」



大切な命を救うために必要な行動を、迅速に途切れることなく行う重要性を表しています。

- ☎ 早い通報：おちついて、はっきりと119番に通報する。
 - ♡ 早い応急手当：救急車の到着前に心肺蘇生法などの応急手当を行う。
 - ⚡ 早い救急処置：救急救命士の行う除細動などの高度救急処置
 - 🏥 早い医療処置：医療機関における医療処置
- ◆救急法講習会を希望する方は、須賀川消防署救急係 (☎76-3196) までご連絡ください。

訂正 広報たまかわ7月号トピックスinたまかわの第47回玉川山野草展の記事中、玉川山野草会会長名の「溝井博道会長」は「奥野四郎会長」の誤りでした。お詫びのうえご訂正申し上げます。

シリーズ **今日の食卓** ⑤
 今月のお題は
「夏野菜は夏バテの特効薬」です
 食欲不振におちいりがちな夏。色彩が美しく爽やかで食欲をそそる夏野菜には、疲労回復、消化促進、整腸作用と優れた効果を持つものがいっぱい。
 胃腸が弱る夏こそ、野菜料理を中心にバランスの良い食事に心掛けましょう。(夏野菜) ナス、トマト、キュウリ、枝豆、ミョウガ、ピーマン、モロヘイヤなど

今月の献立 「とりの唐揚げと夏野菜のマリネ風」

- 一材料(4人分) 1人分292キロカロリー
- とりもも肉 大1枚(300g)
 - 酒、こしょう、塩、片栗粉 適量
 - ナス 中1個(120g)
 - トマト 中1個(70g)
 - キュウリ 中1本(100g)
 - 玉ネギ 中1/2個(60g)
- A —
- ワインビネガー大さじ5 (米酢の時は味をみながら加減)
 - サラダ油 大さじ2
 - 塩、コショウ 適量
 - 白ごま、ミョウガ、青しそ ~好みで

- 作り方 —
- ①ナスは洗って2ヶ所位つま楊枝で穴をあけ、ラップして1分30秒位電子レンジにかけた後さます。ナス、トマト、キュウリ、玉ネギは5mm角に切りAにつけ込む。
 - ②とりもも肉は一口大に切り酒、こしょう、塩で軽く下味をつけ、片栗粉を軽くまぶして色よく揚げる。
 - ③熱いうちに②を①に入れ1時間位つけ込む。
 - ④皿に盛り、好みで白ごま、みじん切りのミョウガ、千切りの青しそを載せてでき上がり。



昭和42年頃の夏まつりで機船レースのようすです

私のふるさと — 北海道蘭越町 —
 榎枝正夫さん (北須釜)

私のふるすとは、北海道磯谷郡蘭越町というところです。積丹半島の少し南に位置しており私の家は尻別川の河口近くにありました。海沿いなので、子供のころは海や川で遊んだのが思い出です。夏場は、釣りや泳ぎが楽しめました。尻別川を泳いで横断するのを目標に泳ぎを練習したのを覚えています。海ではウニやアワビ、イカなどが取れて、友達と浜辺で焼いて食べたりしました。また、夜の海いっばいに見える漁火がとてもきれいでした。

冬は海沿いで風が強いためそんなに雪は積りませんでした。しかし、寒さは厳しくて尻別川は凍結しました。歩いて渡ることができたし、スケート遊びなどもしました。

町内には雷電温泉などいくつかの温泉があります。また、かつてはにしん漁が盛んで、町内にはその栄華が忍ばれる『にしん御殿』があります。弁慶伝説もあって、弁慶が自らの刀をかけたと言われる『刀がけ岩』というところもあります。

〔方言クイズ〕
 海にいる鳥なんです、私のふるさとでは『ゴメ』と言います。さて、なんででしょう?
 ※先月の答え『彙で作った夕凧』です。

日本一の村、玉川村は私の誇りです。
 ふるさとへの思いも沢山ありますが、現在の玉川村の急激な発展に目を見張るばかりで、過去とのギャップの大きさにびっくりしてしまいました。でも、ふる里の山々の緑、川のせせらぎなどは今も残っており、都会の雑踏の中に暮らす私には、本当に心が洗われるようです。

ふるさと玉川村も、福島空港が建設されたことにより、いろいろな事業が展開されており、すばらしいと思います。スカイパーク玉川構想などデッサンがどんどん実現して行くそのパワーにはいつも驚かされています。この前久しぶりに帰郷した時も学校やふれあいセンターの施設の立派さにはびっくりいたしました。ただ、私の一番好きなのは玉川村産のお米や竹炭、いろいろな名産品です。東京ではなかなか手に入りません。そこで私がいつも考えていることを提案したいと思えます。それは東京に玉川村の発信基地東京支店を開いてもらいたいということ。福島県玉川村の知名度をもっと高め、玉川村に人を集めて、東京の人達が大勢、玉川村に来るようになりたい。そういう役割を持つ玉川村東京支店を作ってもらいたい。玉川村の皆様、東京玉川会員の皆様、よろしくお願います……。

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと 『玉川村の産品を東京へ』

東京都新宿区 石黒敏子さん (小高出身・車田茂夫さんの叔母)

